

東芝デジタル複合機

e-BRIDGE Plus for Green Information 取扱説明書

©2018 - 2020 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複製、複製を禁じます。


はじめに


このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、e-BRIDGE Plus for Green Informationを使って複合機からカウンタ情報を収集、集計、保存して、環境保護につながる用紙削減の達成度を確認する方法について説明しています。お使いになる前に本書をよくお読みください。


■ 本書の読みかた


本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

 **注意** 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

 **補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者（ユーザー）および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、以下のとおりです。

	機種名	シリーズ名
複合機	e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC	e-STUDIO5015AC Series
	e-STUDIO2010AC	
	e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A	e-STUDIO5018A Series
	e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC	e-STUDIO7516AC Series
	e-STUDIO6518A/8518A	e-STUDIO8518A Series
	e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC	e-STUDIO5005AC Series
	e-STUDIO2000AC	
	e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A	e-STUDIO5008A Series
	e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC	e-STUDIO7506AC Series
	e-STUDIO6508A/8508A	e-STUDIO8508A Series
	Loops LP35/LP45/LP50	Loops LP50 Series
	e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055C	e-STUDIO5055C Series
	e-STUDIO2050C*	e-STUDIO2550C Series
	e-STUDIO5560C/6560C/6570C	e-STUDIO6570C Series
	e-STUDIO657/857	e-STUDIO857 Series
e-STUDIO257/357/457/507	e-STUDIO507 Series	
消色装置	Loops LP301	Loops LP301
	Loops RD301	-

*内蔵ストレージが装着されている場合のみ使用できます。

本文中の画面について

お使いの機種やオプション機器の装着状況、インストールしているアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

商標について

本書に掲載されている会社名/製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

e-BRIDGE Plus for Green Information

e-BRIDGE Plus for Green Informationのセットアップと使い方を説明します。

このアプリケーションについて	6
本書の用語について	6
セットアップを始める前に	7
セットアップの流れ（管理者の方へ）	8
操作パネルで情報を確認するには	8
このアプリケーションをインストールする	9
このアプリケーションを設定する	10
プライマリ機を設定する	10
セカンダリ機を設定する	12
データ収集ができるように準備する	13
[SNMP] を設定する（セカンダリ機のみ）	13
[ODCA] を設定する（プライマリ機/セカンダリ機）	14
[ユーザアカウント] を設定する（セカンダリ機のみ）	14
このアプリケーション画面を操作パネルに表示する	15
このアプリケーションをホーム画面に登録する	15
このアプリケーション画面を起動時の初期画面に設定する	17
このアプリケーションを使用する	18
このアプリケーションの画面を開く	18
[情報] 画面	19
[エクスポート] 画面	22
[設定] 画面	24
[アカウント] 画面	33
ホーム画面で情報を確認する	34
確認画面を開く	34
用紙削減貢献度を確認する	36
困ったときは	37
このアプリケーション内の画面に表示されるメッセージ	37
操作パネルのこのアプリケーション画面に表示されるメッセージ	43
アプリケーションログに記録されるメッセージ	44

このアプリケーションについて

e-BRIDGE Plus for Green Information（本書では以降「このアプリケーション」と称します）は、弊社のデジタル複合機（本書では「本機」と称します）にインストールして利用するアプリケーションです。このアプリケーションをインストールしたデバイスからだけでなく、登録した別デバイスからでも、データ（カウンタの値と部門カウンタまたはユーザカウンタの値）を収集し、参考情報として集計できます。さらに、集計した情報を元に用紙削減の貢献度をデバイスの操作パネルで確認することもできます。印刷にどれほど用紙を使ったかなど、環境保護につながる情報（Green Information）を把握することができます。

注意

- このアプリケーションは、カウンタ情報の同時性や精度を保証するものではなく、多少の誤差を含む可能性があります。したがって、賦課金の配分などの目的には使用しないでください。
- 本機をインターネットなどの外部ネットワークと接続する場合、設定の不備による情報漏えいや、悪意のある不正なアクセスによる影響を防止するため、別途ファイアウォール等で保護されたネットワーク環境でご利用いただきますようお願い致します。
- このアプリケーションは、ハイセキュリティモードに設定しているデバイスで使用できません。
- 取得するカウンタデータの言語が操作パネルの表示言語と異なると、ユーザ名、ドメイン名、部門名が正しく取得できない場合があります。このアプリケーションを使用するときは、登録したユーザーまたは部門に合った言語を操作パネルの表示言語として選択することをお勧めします。

■ 本書の用語について

本書をお読みいただく前に、以下の用語をご理解ください。

□ サポート機とターゲット機

このアプリケーションの対象機種を、本書では以下のように2種類に分類して説明します。

サポート機

このアプリケーションをインストールでき、集計した情報を操作パネルで確認できる機種を「サポート機」と呼びます。そのほかのデバイスからデータを収集するように設定することもできます。

ターゲット機

データが収集されるだけの機種を「ターゲット機」と呼びます。

□ プライマリ機とセカンダリ機

このアプリケーションを使用できるデバイスは、2つの異なる機能的役割を果たします。

プライマリ機

このアプリケーションをインストールして、データを収集、集計、保存する親機です。集計した情報を操作パネルで確認することもできます。また、次のセカンダリ機を9台まで登録してデータを収集することができます。「サポート機」のみがプライマリ機になることができ、このアプリケーション内でプライマリ機として設定する必要があります。

セカンダリ機

上記のプライマリ機がデータを収集できる子機です。

- 「サポート機」にこのアプリケーションをインストールしてセカンダリ機として設定すれば、プライマリ機に登録してデータ収集の対象にでき、集計したデータを操作パネルで確認することもできます。
- 「ターゲット機」は、プライマリ機に登録すればデータ収集の対象にできますが、集計したデータをデバイス上で確認することはできません。

■ セットアップを始める前に

このアプリケーションをご使用いただく前に、以下の説明をお読みください。

□ デバイス区分

このアプリケーションを使用できるデジタル複合機および消色装置は以下のとおりです。

デバイス区分	機種名	シリーズ名
「サポート機」 (TxxxHD0W1071* ¹ 以降のシステムソフトウェアへのアップデートが必要です。不明な場合はサービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。) このアプリケーションをインストールできる機種です。	e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC	e-STUDIO5015AC Series
	e-STUDIO2010AC	
	e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A	e-STUDIO5018A Series
	e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC	e-STUDIO7516AC Series
	e-STUDIO6518A/8518A	e-STUDIO8518A Series
	e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC	e-STUDIO5005AC Series
	e-STUDIO2000AC	
	e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A	e-STUDIO5008A Series
	e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC	e-STUDIO7506AC Series
	e-STUDIO6508A/8508A	e-STUDIO8508A Series
	Loops LP35/LP45/LP50	Loops LP50 Series
「ターゲット機」 このアプリケーションをインストールできない機種です。	e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055C	e-STUDIO5055C Series
	e-STUDIO2050C* ²	e-STUDIO2550C Series
	e-STUDIO5560C/6560C/6570C	e-STUDIO6570C Series
	e-STUDIO657/857	e-STUDIO857 Series
	e-STUDIO257/357/457/507	e-STUDIO507 Series
	Loops LP301	Loops LP301
	Loops RD301	-

*1 「xxx」の部分はお使いの機種によって異なります。
 *2 内蔵ストレージが装着されている場合のみ使用できます。

□ Webブラウザ

管理者がこのアプリケーションを使用するには、TopAccessがサポートするWebブラウザを使用してください。このアプリケーションの準備、セットアップ、操作にはTopAccessを使用しますので、操作方法や設定画面について詳しくは**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

このアプリケーションを使用するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。

□ 管理対象

このアプリケーションは、デバイスのトータルカウンタのほかに部門またはユーザーどちらかのカウンタを選択してそのカウント数を収集できます。部門またはユーザカウンタ値を収集するには、部門またはユーザーを管理できるようにTopAccessで設定してください。設定の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。このアプリケーションは以下の範囲でデバイスやカウンタを管理できます。

- 管理できるセカンダリ機の数：9台まで（プライマリ機を含めて10台まで管理できます）
- 管理できる部門またはユーザー数：200部門またはユーザー（デバイスの初期登録ユーザー含む）200名まで（部門またはユーザーどちらかを選択）

■ セットアップの流れ（管理者の方へ）

管理者は、以下の順序でこのアプリケーションをセットアップしてください。詳しくは、各参照先をお読みください。

順序	説明	参照先
1	「サポート機」にこのアプリケーションをインストールします。	📖 P.9 「このアプリケーションをインストールする」
2	「サポート機」を、プライマリ機またはセカンダリ機のどちらで使用するかを選択して設定します。	📖 P.10 「このアプリケーションを設定する」
3	プライマリ機がセカンダリ機のデータを収集できるようにするため、TopAccessから各デバイスのデータ通信機能を確認または設定します。	📖 P.13 「データ収集ができるように準備する」
4	「サポート機」の操作パネル（ホーム画面）にこのアプリケーションを登録して、集計した用紙削減情報を確認できるようにします。	📖 P.15 「このアプリケーション画面を操作パネルに表示する」
5	このアプリケーションを使用して、詳細な情報を確認し、さまざまな機能を設定できます。	📖 P.18 「このアプリケーションを使用する」
	収集・集計した情報を詳しく確認できます。	📖 P.19 「[[情報] 画面」
	プライマリ機が収集して内蔵ストレージに保存したデータを、CSVファイルとして書き出せます。	📖 P.22 「[[エクスポート] 画面」
	このアプリケーションの各種設定を、必要に応じて変更できます。	📖 P.24 「[[設定] 画面」
	部門カウンタまたはユーザカウンタを選択して、不要になったデータを削除できます。	📖 P.33 「[[アカウント] 画面」
<p>補足</p> <p>[[アカウント] 画面は、上記 [[設定] 画面の [[カウンタ取得設定] の設定により異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> トータルカウンタデータのみ（初期値）を収集するように設定している場合、[[アカウント] 画面は開きません（削除されるデータはありません）。 部門カウンタまたはユーザカウンタどちらかのデータを収集するように選択している場合、選択した部門またはユーザどちらかの一覧をこの [[アカウント] 画面に表示します。 		

■ 操作パネルで情報を確認するには

管理者がこのアプリケーションを「サポート機」にインストールして、操作パネルのホーム画面にこのアプリケーションを登録していれば、一般ユーザーも操作パネルで登録されたすべてのデバイスの用紙削減効果を総合した情報を確認することができます。

説明	参照先
操作パネルのホーム画面からこのアプリケーション画面を開いて、情報を確認できます。	📖 P.34 「ホーム画面で情報を確認する」

補足

個別デバイス（「ターゲット機」を含む）の情報を確認するには、プライマリ機の [[エクスポート] 画面で [[用紙削減効果情報 トータル] または [[カウンタ情報 トータル (カラー別・スキャン・OCR)] からCSVファイルを書き出す必要があります。

📖 P.22 「[[エクスポート] 画面」

このアプリケーションをインストールする

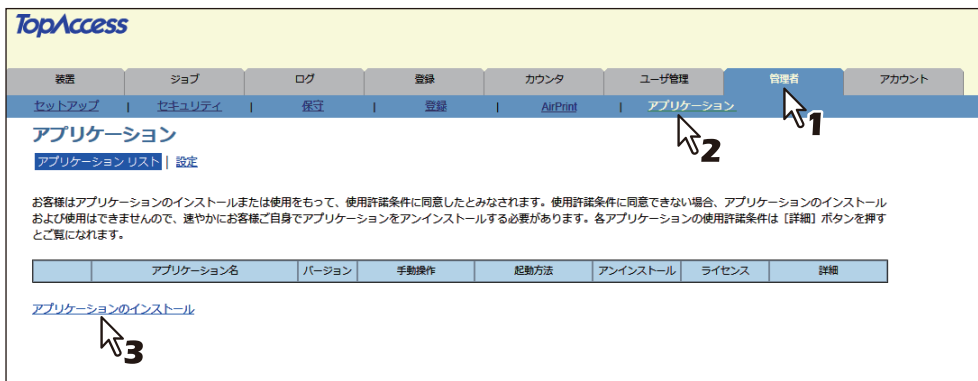
以下の手順に従って、「サポート機」にこのアプリケーションをインストールしてください。

- 1 Webブラウザを起動して「サポート機」のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

注意

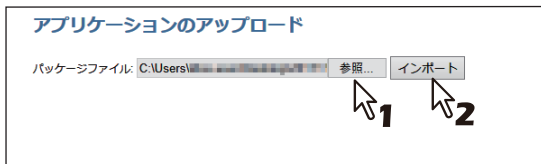
このアプリケーションを使用するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。

- 2 [管理者] タブ > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] > [アプリケーションのインストール] を選択します。



- 3 [参照*] をクリックしてe-BRIDGE Plus for Green Informationのインストールファイルを選択し、[インポート] をクリックしたら画面の指示に従ってインストールします。

* [参照] のボタン名称は、ブラウザによって異なります。



インストールが終了すると、このアプリケーションは自動的に起動します。[終了] をクリックすると、このアプリケーションは終了します。

補足

[アプリケーションリスト] に登録したこのアプリケーションに対して、以下のボタンを操作できます。

- [起動方法] の [自動] をクリックすると、このアプリケーションは自動的に起動します。常に手動で起動するには、[手動] をクリックします。
- [アンインストール] を選択すると、このアプリケーションを「サポート機」から削除できます。
- [詳細] を選択すると、このアプリケーションの詳細情報を確認できます。

このアプリケーションを設定する

このアプリケーションをインストールした「サポート機」は、プライマリ機またはセカンダリ機として使用します。必ずどちらかを選択してください。

■ プライマリ機を設定する

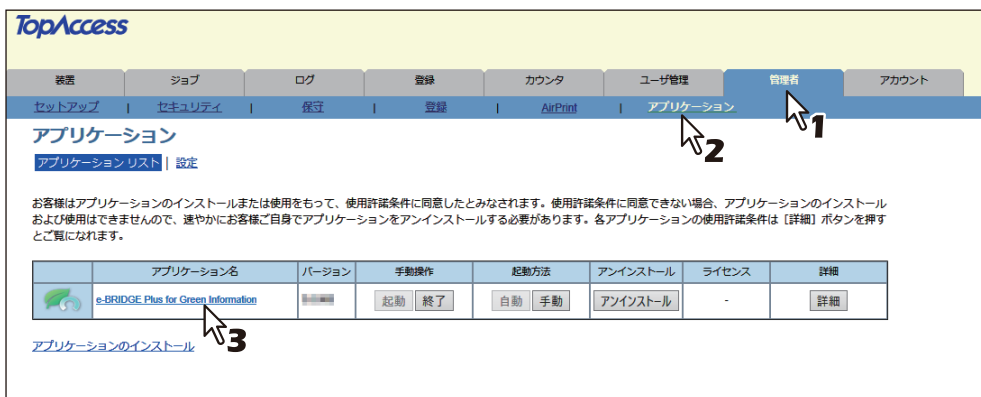
「サポート機」をプライマリ機として設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 Webブラウザを起動して「サポート機」のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

注意

- このアプリケーションを使用するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。
- 複数のデバイスをプライマリ機に設定しないでください。

- 2 [管理者] タブ > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] > [e-BRIDGE Plus for Green Information] を選択します。



- 3 [設定] 画面の [プライマリ設定] で [プライマリ] を選択して、[保存] をクリックします。

これ以降の設定の詳細については、本書の以下のページを参照してください。

📖 P.24 「[設定] 画面」



4 複数のデバイスからデータを収集するには、[デバイス登録] でセカンダリ機を登録します。 セカンダリ機は9台まで登録できます。

1. セカンダリ機のIPアドレスを [IPアドレス] 欄に入力します。
2. [追加] をクリックします。

注意

[接続テスト] と [手動取得] にあるボタンは、このアプリケーションのセットアップが完了してから操作してください。セットアップ中は、機能が正しく動作しない場合があります。

5 登録したセカンダリ機の操作パネルに情報を表示するには、そのセカンダリ機のチェックボックスを選択して [編集] をクリックし、[パネル画面の送信] から [ON] を選択します。

情報を操作パネルに表示しない場合は、[OFF] を選択します。

注意

- [パネル画面の送信] の [ON] / [OFF] を切り替えられるのは、操作パネルに情報を表示できる「サポート機」のみです。
- 操作パネルに情報を表示できない「ターゲット機」の場合は、必ず [OFF] のままにしてください。

6 画面をスクロールしながら、[自動取得設定]、[カウンタ取得設定]、[エクスポートファイル自動生成設定]、[用紙削減機能の目標設定]、[削減効果の設定]、[パネル画面の表示設定] を必要に応じて設定します。

注意

- 初期設定のままでは、有用な情報を得られない場合があります。
- [カウンタ取得設定] の設定を変更すると、収集したデータが削除されます。収集したいカウンタ情報は、必ず最初に選択してください。

7 複数のデバイスからデータを収集するには、[ネットワーク設定] を設定します。

プライマリ機とセカンダリ機の間で正常にデータ通信を行うために、[SNMP設定] と [Off Device Customization Architecture設定] を設定する必要があります。

注意

プライマリ機とセカンダリ機では同じ設定をする必要があります。設定の詳細については、以下のページを参照してください。

📖 P.13 「データ収集ができるように準備する」

📖 P.31 「ネットワーク設定」

8 [保存] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、変更した機能は無効となります。

■ セカンダリ機を設定する

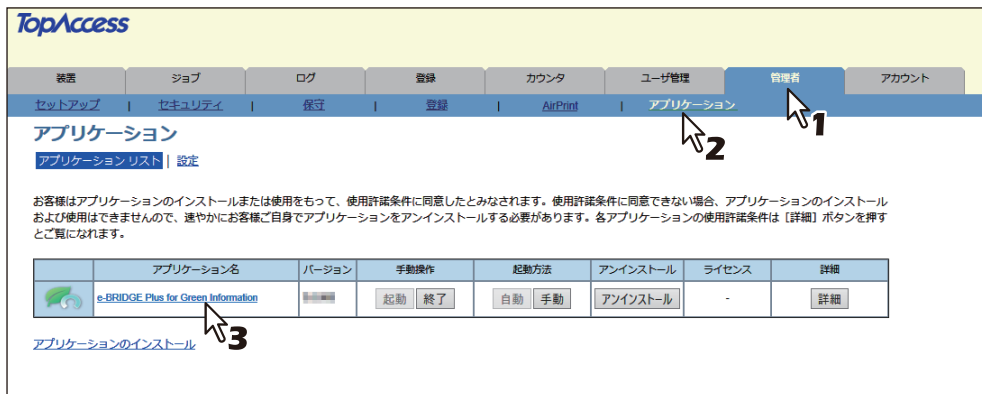
「サポート機」をセカンダリ機として設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 Webブラウザを起動して「サポート機」のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

注意

このアプリケーションを使用するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。

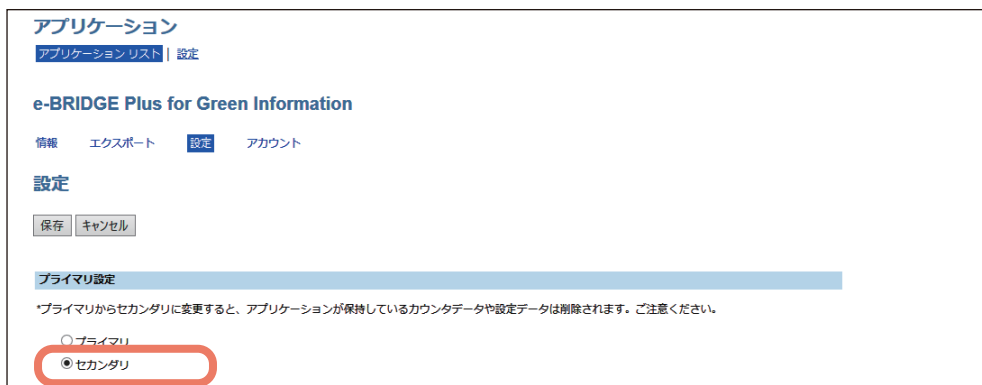
- 2 [管理者] タブ > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] > [e-BRIDGE Plus for Green Information] を選択します。



- 3 [設定] 画面の [プライマリ設定] で [セカンダリ] (初期値) が選択されていることを確認します。

機能の詳細については、本書の以下のページを参照してください。

📖 P.24 「[設定] 画面」



注意

セカンダリ機に必要なデータ通信設定は、以下のページを参照してください。

📖 P.13 「データ収集ができるように準備する」

データ収集ができるように準備する

このアプリケーションをインストールしたプライマリ機が正しくセカンダリ機からデータを収集できるようにするには、プライマリ機とセカンダリ機どちらも同じ通信機能を設定する必要があります。

ここでは、TopAccessで設定するセカンダリ機の通信設定の概略を説明します。TopAccessの操作方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。プライマリ機での設定は、以下のページを参照してください。

📖 P.10 「プライマリ機を設定する」

補足

ここでの設定は、このアプリケーション専用の設定画面を開く必要はありません。Webブラウザを起動してプライマリ機またはセカンダリ機のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

■ [SNMP] を設定する（セカンダリ機のみ）

Webブラウザを起動してセカンダリ機のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。[管理者] - [セットアップ] - [ネットワーク] を選択して以下の [SNMP] を設定します。

プライマリ機での設定に合わせて、[SNMP V1/V2使用] または [SNMP V3使用] どちらかから [有効] を選択します。

- [SNMP V1/V2使用] を有効にした場合：[リードコミュニティ] に、プライマリ機での名前と同じ名前（初期値 [public]）を入力します。なお、[リードライトコミュニティ] はこのアプリケーションの使用には必要ありませんので、どのような名前でも構いません。

- [SNMP V3使用] を有効にした場合：[SNMP V3ユーザ情報] で、このアプリケーションを使うユーザーの情報を作成します。その際、プライマリ機での設定と同じ [ユーザ名]、[認証プロトコル]（初期値 [HMAC-MD5] または [HMAC-SHA]）、[認証パスワード]（8 - 31文字）を設定して、[プライバシープロトコル] から [なし] を選択します。なお、[パスワード] は入力する必要はなく（入力できません）、[許可レベル] は [管理者] または [一般ユーザ] のどちらでも構いません（初期値 [管理者] のままで構いません）。

プライマリ機での詳細な設定については、以下のページを参照してください。

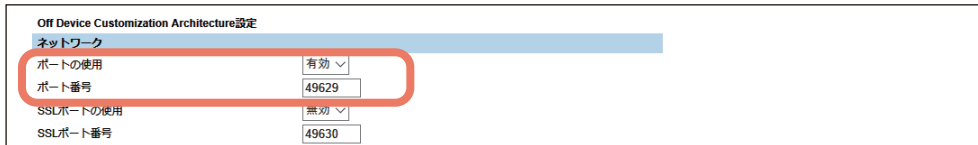
📖 P.31 「SNMP設定」

注意

- [SNMP V1/V2使用] を有効にした場合は、セキュリティの観点から、[リードコミュニティ] と [リードライトコミュニティ] は初期値から変更することをお勧めします。
- [SNMP V3使用] を有効にした場合は、プライマリ機での [認証パスワード] は8文字以上が必要ですので、セカンダリ機でも8文字以上の同じパスワードを入力してください。また、プライマリ機の [プライバシープロトコル] は [なし] で固定ですので、セカンダリ機でも [なし] を選択してください。

■ [ODCA] を設定する（プライマリ機/セカンダリ機）

Webブラウザを起動してプライマリ機またはセカンダリ機のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。[管理者] - [セットアップ] - [ODCA] を選択して以下の [Off Device Customization Architecture設定] を設定します。



Off Device Customization Architecture設定	
ネットワーク	
ポートの使用	有効
ポート番号	49629
SSLポートの使用	無効
SSLポート番号	49630

- [ネットワーク] の [ポートの使用] から [有効] を選択します。
- [ネットワーク] の [ポート番号] の値を、プライマリ機とセカンダリ機で同じになるように設定します。
- [ネットワーク] の [SSLポートの使用] と [SSLポート番号] はこのアプリケーションで使用しませんので、初期値のまま構いません。

プライマリ機では、上記の設定に加えてこのアプリケーションの [ポート番号] に同じ値を設定する必要があります。詳細な設定については、以下のページを参照してください。

📖 P.32 「Off Device Customization Architecture設定」

注意

プライマリ機とセカンダリ機が通信できるようにするには、どちらでもODCA用のポートが使用できるようにして、同一ポート番号を設定する必要があります。

■ [ユーザアカウント] を設定する（セカンダリ機のみ）

Webブラウザを起動してセカンダリ機のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。[ユーザ管理] - [ユーザアカウント] を選択して、TopAccessの初期登録ユーザー「Admin」の [パスワード] を確認します。



ユーザ情報編集	
ユーザ名	Admin
<input type="checkbox"/> Windowsドメイン/LDAP認証時も有効となるローカルユーザとして登録	
ドメイン名/LDAPサーバー	
認証方法	内部認証
パスワード
PINコード	
カード情報	
ロール割り当て	Administrator AccountManager CopyOperator CopyOperator
グループ割り当て	

以下の点に注意してください。

- [ユーザ名] が「Admin」であること。
- [パスワード] がプライマリ機での設定と同じであること。
- [ロール割り当て] で、管理者権限のある [Administrator] ロールが割り当てられていること。

プライマリ機での詳細な設定については、以下のページを参照してください。

📖 P.32 「Off Device Customization Architecture設定」

注意

[パスワード] の設定がプライマリ機での設定と同じかどうか確認してください。

このアプリケーション画面を操作パネルに表示する

操作パネルで用紙削減情報を確認できるように、「サポート機」を設定します。

■ このアプリケーションをホーム画面に登録する

「サポート機」のTopAccessまたは操作パネルからこのアプリケーションを登録して、操作パネルのホーム画面で用紙削減情報を確認できます。本書では、TopAccessからの登録方法を説明します。詳しくは、**TopAccessガイド**の第8章「[管理者] タブ」-「[登録] ([管理者] タブ) 項目説明一覧」を参照してください。操作パネルのホーム画面設定ボタンからこのアプリケーションを登録するには、**かんたん操作ガイド**の「ホーム画面の基本操作」-「機能を登録する」を参照してください。

- 1 Webブラウザを起動して「サポート機」のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

注意

このアプリケーションを使用するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。

- 2 [管理者] タブ > [登録] > [共有ホーム] を選択します。

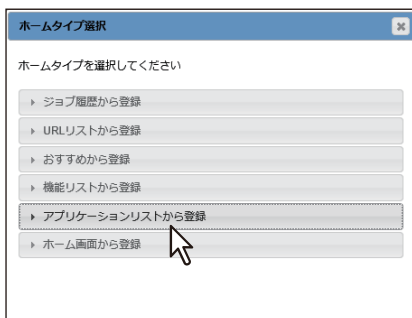


- 3 このアプリケーションを登録したいパネルボタン位置まで移動して選択し、リンクをクリックします。

[ジャンプ] の番号をクリックすると、その位置を含むリストへ直接移動します。



4 [ホームタイプ選択] 画面から [アプリケーションリストから登録] を選択します。

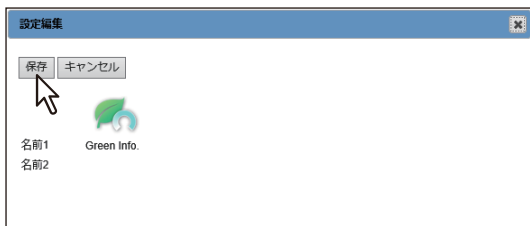


5 [アプリケーションリストから登録] 画面から [Green Info.] を選択します。



6 [設定編集] 画面で [保存] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、登録せずに [設定編集] 画面を閉じます。



注意

セカンダリ機の操作パネルで情報を確認するには、プライマリ機からセカンダリ機へ画面データを送信する必要があります。プライマリ機の [設定] 画面の [デバイス登録] で、セカンダリ機の [パネル画面の送信] から [ON] を選択してください (初期値 [OFF])。

📖 P.26 「パネル画面の送信」

■ このアプリケーション画面を起動時の初期画面に設定する

「サポート機」の起動後に表示される初期画面にこのアプリケーション画面を設定することができます。

- 1 Webブラウザを起動して「サポート機」のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

注意

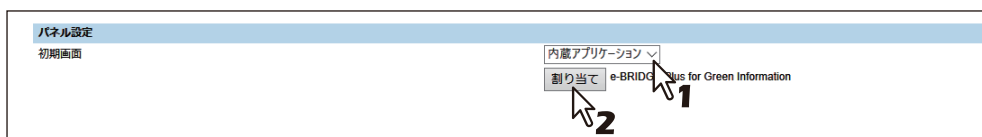
初期画面を設定するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。

- 2 [管理者] タブ > [セットアップ] > [一般] を選択します。



- 3 [パネル設定] まで画面をスクロールして、[初期画面] でこのアプリケーションを選択します。

1. メニューから [内蔵アプリケーション] を選択します。
2. [割り当て] をクリックして、[e-BRIDGE Plus for Green Information] を選択します。



- 4 画面上部の [保存] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。



このアプリケーションを使用する

ここでは、このアプリケーションの設定を変更する手順の概要と設定の詳細を説明します。

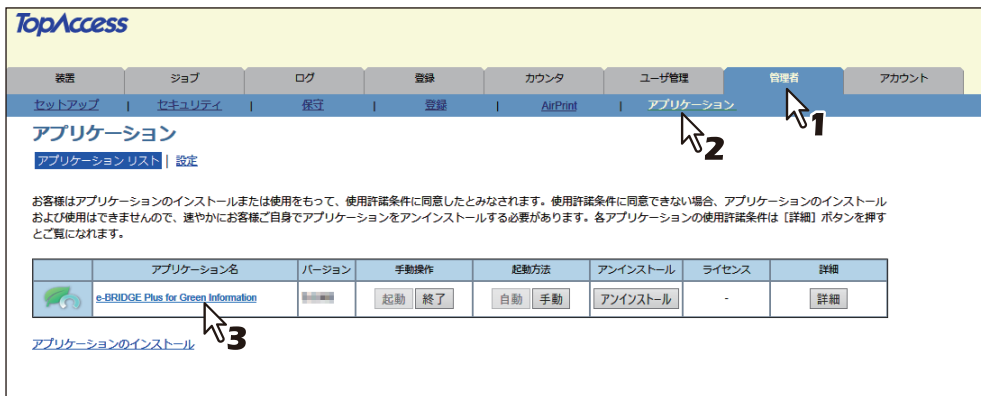
■ このアプリケーションの画面を開く

- 1 Webブラウザを起動して「サポート機」のTopAccessにアクセスし、管理者としてログインします。

注意

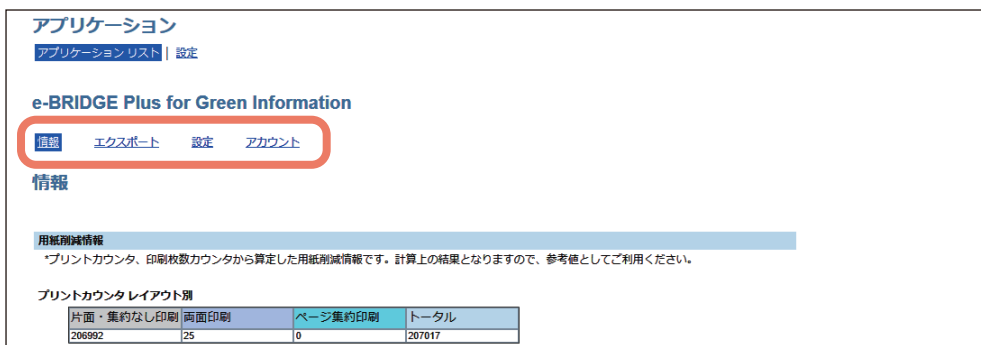
このアプリケーションを使用するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。

- 2 [管理者] タブ > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] > [e-BRIDGE Plus for Green Information] を選択します。



- 3 [情報]、[エクスポート]、[設定] または [アカウント] を選択して各画面を開き、情報を確認したり機能を設定したりします。

- 収集した情報を確認するには： P.19 「[情報] 画面」
- 収集した情報をCSVファイルに書き出すには： P.22 「[エクスポート] 画面」
- このアプリケーションを設定するには： P.24 「[設定] 画面」
- 収集した部門またはユーザカウンタのデータを削除するには： P.33 「[アカウント] 画面」



補足

- [設定] 画面の [プライマリ設定] で [セカンダリ] (初期値) が選択されている場合、[情報]、[エクスポート]、[アカウント] 画面は表示されません。
- [設定] 画面の [カウンタ取得設定] で [トータルカウンタ] (初期値) が選択されている場合、[アカウント] 画面は表示されません。

■ [情報] 画面

このアプリケーションがプライマリ機とセカンダリ機から収集、集計したカウンタ値から、用紙削減に関する詳細な情報を確認できます。

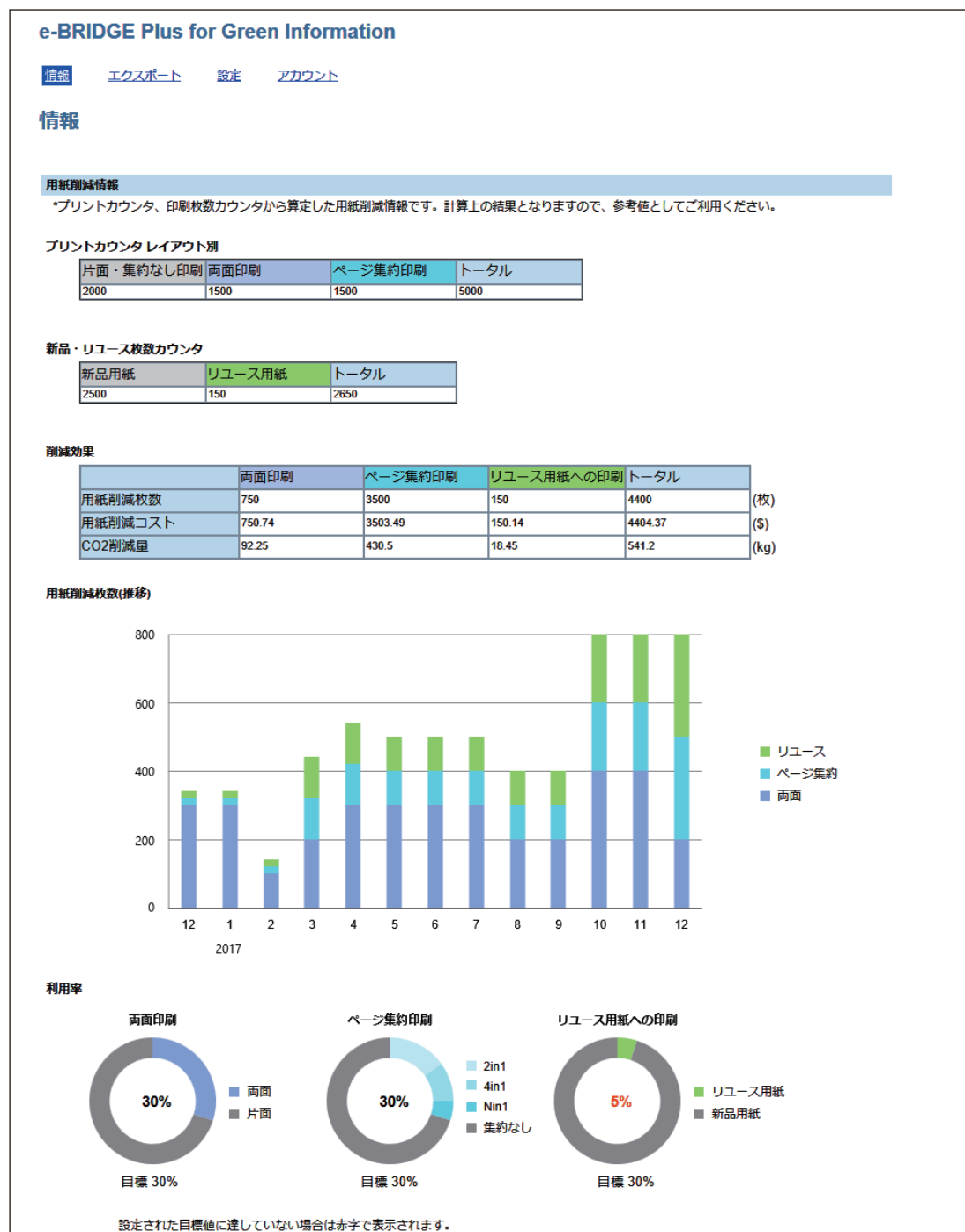
補足

[情報] 画面では、すべてのデバイスの総合情報を確認できます。個別デバイスの情報を確認するには、[エクスポート] 画面で [用紙削減効果情報 トータル] または [カウンタ情報 トータル (カラー別・スキャン・OCR)] からCSVファイルを書き出す必要があります。

📖 P.22 「[エクスポート] 画面」

□ 用紙削減情報

レイアウト別の印刷カウンタの値と新品・リユース枚数カウンタの値から用紙削減効果を計算し、用紙削減の推移と用紙削減機能の利用率をグラフで表示します。



プリントカウンタ レイアウト別

印刷に使用したページ数を [片面・集約なし印刷]、[両面印刷]、[ページ集約印刷] に分けて集計し、[トータル] とともに表示します。

新品・リユース枚数カウンタ

印刷に使用した用紙の枚数を [新品用紙]、[リユース用紙] (ブルートナーで印刷したリユース紙) に分けて集計し、[トータル] とともに表示します。

削減効果

削減できた用紙枚数を [両面印刷]、[ページ集約印刷]、[リユース用紙への印刷] に分けて集計し、用紙削減コストとCO₂削減排出量を計算して、[トータル] とともに表示します。[用紙削減コスト] と [CO₂削減量] は、[設定] 画面で設定した [削減効果の設定] を元に計算されます。

📖 P.28 「削減効果の設定」

用紙削減枚数 (推移)

毎月の用紙削減枚数の推移を、[リユース]、[ページ集約]、[両面] に分けて棒グラフで表示します。

補足

運用中のデバイスを追加または削除すると、当月および前月は月次の削減量ではなく、それまでの総削減量が表示されます。正確な数値が必要な場合は、データ収集を実行した後に、CSVファイルをエクスポートし、確認してください。

📖 P.24 「[設定] 画面」

📖 P.22 「[エクスポート] 画面」

利用率

[両面印刷]、[ページ集約印刷]、[リユース用紙への印刷] をどれほど利用しているかを、円グラフで表示します。各円グラフ内のパーセント値は実績を表し、[設定] 画面で設定した [用紙削減機能の目標設定] の値を円グラフの下に表示します。

📖 P.28 「用紙削減機能の目標設定」

消色情報

ブルートナー消色機能で再生した用紙枚数を表示します。

消色情報		
消色枚数カウンタ		
複合機	消色装置	トータル
300	200	500

消色枚数カウンタ

消色枚数を [複合機]、[消色装置] に分けて集計し、[トータル] とともに表示します。

□ カウンタ情報

印刷、スキャン、OCR読み取りの各カウンタ値を集計して表示します。

カウンタ情報				
プリントカウンタ				
カラー別(トータルカウンタ)				
フルカラー	2色/単色カラー	白黒	ブルー	トータル
1500	500	2500	500	5000
スキャンカウンタ(トータルカウンタ)				
フルカラー	2色/単色カラー	白黒	トータル	
2000	500	3000	5500	
OCRカウンタ(トータルカウンタ)				
トータル				
4000				

プリントカウンタ- カラー別 (トータルカウンタ)

印刷用紙枚数を [フルカラー]、[2色/単色カラー]、[白黒]、[ブルー] (リユース紙で使用するブルートナー) に分けて集計し、[トータル] とともに表示します。

スキャンカウンタ (トータルカウンタ)

スキャンした用紙枚数を [フルカラー]、[2色/単色カラー]、[白黒] に分けて集計し、[トータル] とともに表示します。

OCRカウンタ (トータルカウンタ)

OCR機能で読み取った用紙の総枚数 [トータル] を表示します。

■ [エクスポート] 画面

デバイスのカウンタ情報と用紙削減情報を6つのカテゴリに分類してCSVファイルに手動で書き出すには、該当する情報の [新規作成] をクリックします。ファイルは、プライマリ機の内蔵ストレージに所定のファイル名で保存されます。[ファイル名] のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードして任意のフォルダに保存できます。

e-BRIDGE Plus for Green Information

情報 **エクスポート** 設定 アカウント

エクスポート

*登録件数が多い場合は、処理が完了するまでに10分以上かかる場合があります。

用紙削減効果情報 トータル	
ファイル名	ファイルを作成していません
ファイルサイズ	
作成日時	
	新規作成
用紙削減効果情報 部門	
ファイル名	ファイルを作成していません
ファイルサイズ	
作成日時	
	新規作成
用紙削減効果情報 ユーザ	
ファイル名	ファイルを作成していません
ファイルサイズ	
作成日時	
	新規作成
カウンタ情報 トータル(カラー別・スキャン・OCR)	
ファイル名	ファイルを作成していません
ファイルサイズ	
作成日時	
	新規作成
カウンタ情報 部門(カラー別・スキャン・OCR)	
ファイル名	ファイルを作成していません
ファイルサイズ	
作成日時	
	新規作成
カウンタ情報 ユーザ(カラー別・スキャン・OCR)	
ファイル名	ファイルを作成していません
ファイルサイズ	
作成日時	
	新規作成

注意

エクスポートしたユーザー情報については、ユーザー情報に不正にアクセスされたり、ユーザー情報が改ざんされたりしないようにデータを管理してください。

補足

- 消色関連のカウンタ値は書き出されません。
- 部門またはユーザーどちらの情報を書き出せるかは、[設定] 画面の [カウンタ取得設定] で部門またはユーザーどちらのカウンタを選択するかによって決まります。
[P.27 「カウンタ取得設定」](#)
- [設定] 画面の [エクスポートファイル自動生成設定] で、[エクスポートデータ自動生成] から [有効] を選択して [エクスポートデータ作成日] に日付を入力すると、指定日に情報が自動的に書き出されます。
[P.27 「エクスポートファイル自動生成設定」](#)

用紙削減効果情報 トータル

各デバイスとすべてのデバイスの以下のカウンタの最新合計値と月別値、さらに削減できた用紙の推定枚数が、このCSVファイルに書き出されます。

- ページカウンタ（片面/両面/Nin1）
- シートカウンタ（新品用紙/リユース用紙）
- 用紙削減枚数（推定値）

用紙削減効果情報 部門

部門ごとに集計された以下のカウンタの最新値と削減できた用紙の推定枚数が、このCSVファイルに書き出されます。

- ページカウンタ（片面/両面/Nin1）
- シートカウンタ（新品用紙/リユース用紙）
- 用紙削減枚数（推定値）

用紙削減効果情報 ユーザ

ユーザーごとに集計された以下のカウンタの最新値と削減できた用紙の推定枚数が、このCSVファイルに書き出されます。

- ページカウンタ（片面/両面/Nin1）
- シートカウンタ（新品用紙/リユース用紙）
- 用紙削減枚数（推定値）

カウンタ情報 トータル（カラー別・スキャン・OCR）

以下の項目ごとに集計された各デバイスとすべてのデバイスのカウンタの最新合計値が、このCSVファイルに書き出されます。

- ジョブ
- カラー
- Small/Largeサイズ

カウンタ情報 部門（カラー別・スキャン・OCR）

以下の項目ごとに集計された各部門のカウンタの最新値が、このCSVファイルに書き出されます。

- ジョブ
- カラー
- Small/Largeサイズ

カウンタ情報 ユーザ（カラー別・スキャン・OCR）

以下の項目ごとに集計された各ユーザーのカウンタの最新値が、このCSVファイルに書き出されます。

- ジョブ
- カラー
- Small/Largeサイズ

■ [設定] 画面

このアプリケーションの各種設定を、必要に応じて変更できます。変更した設定を有効にするには、必ず [保存] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックすると、変更は無効になります。

e-BRIDGE Plus for Green Information

情報 エクスポート **設定** アカウント

設定

保存 キャンセル

プライマリ設定

*プライマリからセカンダリに変更すると、アプリケーションが保持しているカウンタデータや設定データは削除されます。ご注意ください。

プライマリ
 セカンダリ

□ プライマリ設定

このアプリケーションをインストールした「サポート機」の機能的役割を選択する必要があります。

プライマリ設定

*プライマリからセカンダリに変更すると、アプリケーションが保持しているカウンタデータや設定データは削除されます。ご注意ください。

プライマリ
 セカンダリ

- プライマリ：「サポート機」は、データを収集するプライマリ機として動作します。
- セカンダリ（初期値）：「サポート機」は、データが収集されるセカンダリ機として動作します。

注意

データの収集を始める前に必ず選択してください。この設定を変更すると、このアプリケーションの設定はリセットされ、保存したデータは削除されます。

補足

[セカンダリ] が選択されている場合は、[情報]、[エクスポート]、[アカウント] 画面は開きません。

□ デバイス登録

〔プライマリ設定〕で〔プライマリ〕を選択した場合は、プライマリ機がデータを収集するセカンダリ機を登録できます。

デバイス登録

*新しいデバイスを追加するには、IPアドレスを入力してください。

IPアドレス

*9台までデバイス登録可能

	デバイス名	IPアドレス	接続テスト	手動取得	取得日時	パネル画面の送信
	MFP			取得	SAT DEC 16 15:00:56 2017	
<input type="checkbox"/>	Device_1	157.69.163.31	接続	取得		OFF ▾
<input type="checkbox"/>	Device_2	157.69.49.184	接続	取得		OFF ▾
<input type="checkbox"/>	Device_3	157.69.49.185	接続	取得		OFF ▾
<input type="checkbox"/>	Device_4	157.69.49.186	接続	取得		OFF ▾
<input type="checkbox"/>	Device_5	157.69.49.187	接続	取得		OFF ▾

追加 - IPアドレス

〔IPアドレス〕にセカンダリ機のIPアドレスを入力して〔追加〕をクリックします。9台まで登録できます。

編集/削除

リストに登録したセカンダリ機のチェックボックスを選択して、〔編集〕または〔削除〕をクリックすると、デバイス情報を編集または削除できます。

- 編集：チェックボックスを選択して〔編集〕をクリックすると、その選択したセカンダリ機の〔IPアドレス〕および〔パネル画面の送信〕の編集が可能になります。
- 削除：チェックボックスを選択して〔削除〕をクリックすると、その選択したセカンダリ機をリストから削除できます。

補足

チェックボックスのないデバイスは、このアプリケーションをインストールしたプライマリ機です。

デバイス名

セカンダリ機の名前は、登録当初〔Device#〕（#は数字）と表示し、データ取得後はホスト名を表示します。

IPアドレス

登録したセカンダリ機のIPアドレスを表示します。IPアドレスを変更したい場合は、該当するセカンダリ機のチェックボックスを選択するとこの入力欄に新しいIPアドレスを入力できます。〔保存〕をクリックして、変更したIPアドレスを確定します。

接続テスト

〔接続〕をクリックすると、セカンダリ機と通信可能かどうかを確認します。接続に問題がなければ〔OK〕と表示し、接続に問題がある場合は、〔NG〕と表示しますので、以下のページを参照して設定を確認してください。

📖 P.13 「データ収集ができるように準備する」

📖 P.31 「ネットワーク設定」

手動取得

[取得] をクリックすると、セカンダリ機からデータを手動で取得できます。データが正常に取得できた場合は [OK] と表示します。正常に取得できなかった場合は [NG] と表示しますので、以下のページを参照して設定を確認してください。

📖 P.13 「データ収集ができるように準備する」

📖 P.31 「ネットワーク設定」

補足

データを毎日指定時刻に自動的に収集するように設定できます。何らかの理由でデータ収集をすぐに開始したい場合に、[取得] をクリックしてください。

📖 P.26 「自動取得設定」

取得日時

プライマリ機がセカンダリ機からデータを取得した日時を表示します。直前の自動取得開始時刻よりもデータの取得日時が古い場合、日時が赤字で表示されます。

パネル画面の送信

自動取得実行時、このアプリケーションをインストールしたセカンダリ機の操作パネルに、プライマリ機から用紙削減貢献度の情報を送信するかどうかを選択します。

- OFF（初期値）：情報を送信しません。
- ON：情報を送信します。操作パネルで情報を確認したい場合は、必ず [ON] を選択してください。

注意

「ターゲット機」には画面データを送信できませんので、必ず [OFF] のままにしてください。

自動取得設定

毎日プライマリ機がセカンダリ機からデータの収集を開始する時間を設定します。

自動取得設定

*自動で登録デバイスのデータを取得する時刻の設定(毎日この時刻にデータ収集します)

時刻

取得開始 :

取得開始

データ収集を開始する時間（初期値 [0:00]）を、[時刻] に入力します。

注意

- 設定時刻にこのアプリケーションが停止（デバイスの電源が入っていない場合を含む）していると、自動取得できません。[取得開始] 時刻は、このアプリケーションが稼働している時間を設定してください。
- 設定時刻にデバイスがスリープモードに移行している場合、スリープモードから復帰後に自動取得が行われます。

補足

何らかの理由でデータ収集をすぐに開始したい場合は、[手動取得] で [取得] をクリックしてください。

📖 P.26 「手動取得」

□ カウンタ取得設定

プライマリ機が収集するカウンタの種類を選択する必要があります。

カウンタ取得設定	
*設定を変更すると、取得対象外となったカウンタデータは削除されます。ご注意ください。	
<input checked="" type="radio"/>	トータルカウンタ
<input type="radio"/>	トータルカウンタ+部門カウンタ
<input type="radio"/>	トータルカウンタ+ユーザカウンタ

- トータルカウンタ（初期値）：デバイス情報とトータルカウンタの値（ページおよびシートの総枚数）を収集します。
- トータルカウンタ+部門カウンタ：デバイス情報、トータルカウンタの値（ページおよびシートの総枚数）、および部門カウンタの値を収集します。
- トータルカウンタ+ユーザカウンタ：デバイス情報、トータルカウンタの値（ページおよびシートの総枚数）、およびユーザカウンタの値を収集します。

注意

- この設定を変更すると、それまでに保存していたデータは削除されます。
- この設定により、[エクスポート] 画面と [アカウント] 画面で部門カウンタまたはユーザカウンタどちらのデータ処理ができるか決まります。
[P.22](#) 「[エクスポート] 画面」
[P.33](#) 「[アカウント] 画面」

□ エクスポートファイル自動生成設定

収集したデータをCSVファイルとして指定日にプライマリ機が自動的に書き出すかどうかを選択できます。

補足

データは [エクスポート] 画面でいつでも手動で書き出せます。
[P.22](#) 「[エクスポート] 画面」

エクスポートファイル自動生成設定	
エクスポートデータ自動生成	無効
エクスポートデータ作成日	1 日 *毎月同じ日付でデータを作成します

エクスポートデータ自動生成

データを自動で書き出すときは、[有効]（初期値 [無効]）を選択します。

エクスポートデータ作成日

データを書き出す日（1 - 31）を入力します。指定日（初期値 [1]）に、毎月1回ファイルが作成されます。

補足

30および31日に設定した場合、指定日が存在しない月はその月の月末に作成されます。2月の場合、2月28日または2月29日（閏年の場合）に作成されます。

□ 用紙削減機能の目標設定

両面印刷、集約印刷、およびリユース紙の目標利用率を入力する必要があります。[情報] 画面の [利用率] と、操作パネルに登録したこのアプリケーション画面に表示する削減目標率となります。

📖 P.20 「利用率」

📖 P.34 「ホーム画面で情報を確認する」

補 足

目標の割合を「0」に設定すると、該当する情報は表示されません。

用紙削減機能の目標設定	
両面印刷利用率 目標	<input type="text" value="100"/> %
集約印刷利用率 目標	<input type="text" value="100"/> %
リユース用紙への印刷率 目標	<input type="text" value="100"/> %

両面印刷利用率 目標

両面印刷機能を利用する目標の割合（0 - 100、初期値 [100]）を入力します。

集約印刷利用率 目標

集約印刷機能を利用する目標の割合（0 - 100、初期値 [100]）を入力します。

リユース用紙への印刷率 目標

リユース用紙を利用する目標の割合（0 - 100、初期値 [100]）を入力します。

□ 削減効果の設定

[情報] 画面の [用紙削減情報] - [削減効果] を計算するための情報を設定する必要があります。

📖 P.20 「削減効果」

削減効果の設定	
用紙削減コストの設定	
通貨単位	<input type="text" value="\$"/>
紙1枚あたりの価格	<input type="text" value="0"/>
CO2削減量の設定	
重さ単位	<input type="text" value="グラム(g)"/>
紙1枚あたりのCO2排出量	<input type="text" value="0"/>

用紙削減コストの設定

用紙削減コストを計算するための [通貨単位]（初期値 [\$]）と [紙1枚あたりの価格]（初期値 [0]）を設定します。

CO2削減量の設定

CO₂排出削減量を計算するための [重さ単位]（初期値 [グラム (g)]）と [紙1枚あたりのCO₂排出量]（初期値 [0]）を設定します。

□ パネル画面の表示設定

操作パネルのホーム画面にこのアプリケーション画面を登録することができ、その画面に表示するメッセージと目標達成度の順位表示を設定します。

パネル画面の表示設定

パネル画面のメッセージ

既定のメッセージを使用
 オリジナルメッセージを使用

パネル画面の順位表示 有効 ▾

パネル画面のメッセージ

[用紙削減機能の目標設定] で設定した3つの目標の達成度に応じて、登録したこのアプリケーション画面に表示するメッセージを選択します。

[既定のメッセージを使用] (初期値) を選択すると、以下の規定メッセージを表示します。

- 目標達成：3つすべての目標を達成した場合
目標達成！
おめでとうございます！
- 目標達成度2：2つの目標を達成した場合
目標までもう少し！
がんばりましょう！
- 目標達成度1：1つの目標を達成した場合
成果が現れてきました！
継続は力です
- 目標達成度0：目標を達成していない場合
用紙を削減して
目標を達成しましょう

[オリジナルメッセージを使用] を選択すると、各目標達成度の入力欄（2行）に、各行最大25文字までメッセージを入力できます。

- 目標達成：3つすべての目標を達成した場合のメッセージを入力します。
- 目標達成度2：2つの目標を達成した場合のメッセージを入力します。
- 目標達成度1：1つの目標を達成した場合のメッセージを入力します。
- 目標達成度0：目標を達成していない場合のメッセージを入力します。

注意


アルファベットの大文字だけをたくさん入力したり、2バイト文字を最大25文字入力したりすると、操作パネル上のメッセージ表示が行末で途切れることがあります。

パネル画面の順位表示

登録したこのアプリケーション画面に、登録されたすべてのデバイスを使用する部門またはユーザーの目標達成順位を表示するかどうかを選択できます。

- 有効（初期値）：順位を表示します。
- 無効：順位を表示しません。

注意

- この順位表示は、TopAccessで部門またはユーザー認証が有効になっている場合にのみ表示できます。認証設定について詳しくは**TopAccessガイド**を参照してください。
- 部門またはユーザーどちらの順位を表示するかは、[カウンタ取得設定] でどちらのカウンタ値を収集するよう設定しているかによって決まります。
 P.27 「カウンタ取得設定」

□ ネットワーク設定

プライマリ機がセカンダリ機とデータ通信するために、同じネットワーク機能を設定する必要があります。

ネットワーク設定

*セカンダリに設定された複合機と通信するためのネットワーク設定です。

SNMP設定

SNMP V1/V2使用
リードコミュニティ

SNMP V3使用
ユーザ名

認証プロトコル

認証パスワード (8-31文字)

プライバシープロトコル

パスワード

通信リトライ
タイムアウト (1-60秒)
リトライ回数 (1-5回)

Off Device Customization Architecture設定

ユーザ名

パスワード

ポート番号

タイムアウト (10-600秒)

SNMP設定

[SNMP V1/V2使用] または [SNMP V3使用] のどちらか、セカンダリ機での設定と同じプロトコルを選択します。

[SNMP V1/V2使用] (初期値) を選択した場合：

[リードコミュニティ] にはセカンダリ機で入力した同じ名前 (初期値 [public]) を設定します。

注意

セキュリティの観点から、[リードコミュニティ] は初期値から変更することをお勧めします。

[SNMP V3使用] を選択した場合：

- ユーザ名：セカンダリ機で入力した同じユーザー名を入力します。
- 認証プロトコル：[HMAC-MD5] (初期値) または [HMAC-SHA] のどちらか、セカンダリ機での設定と同じ認証プロトコルを選択します。
- 認証パスワード：セカンダリ機で入力した同じ認証パスワード (8 - 31文字) を入力します。
- プライバシープロトコル：プライマリ機では [なし] で固定されていますので、セカンダリ機で [なし] を選択してください。
- パスワード：このアプリケーションでは、設定する必要はありません。

通信リトライ：

- タイムアウト：デバイス間通信をタイムアウトするまでの時間 (1 - 60秒、初期値 [5]) を入力します。
- リトライ回数：データ収集に失敗した際の通信試行回数 (1- 5回、初期値 [3]) を入力します。

セカンダリ機でのSNMP設定については、以下のページを参照してください。

📖 P.13 「[SNMP] を設定する (セカンダリ機のみ)」

Off Device Customization Architecture設定

以下のODCA設定を入力します。

- ユーザ名：プライマリ機では [Admin] で固定されていますので、セカンダリ機では管理者ロールを有する同じ [Admin] 名の初期登録ユーザーアカウントを使用します。
- パスワード：セカンダリ機の上記 [Admin] ユーザー情報で設定した管理者のパスワードと同じパスワード（初期値 [123456]）を入力します。
- ポート番号：プライマリ機とセカンダリ機で入力した同じポート番号（初期値 [49629]）を入力します。
- タイムアウト：任意の値（10 - 600秒、初期値 [30]）を入力します。

セカンダリ機での [ユーザ名] と [パスワード] の設定については、以下のページを参照してください。

📖 P.14 「[ユーザアカウント] を設定する（セカンダリ機のみ）」

プライマリ機では、上記の [ポート番号] 設定に加えて、このアプリケーション外でも同じ [ポート番号] を設定する必要があります。プライマリ機とセカンダリ機での設定については、以下のページを参照してください。

📖 P.14 「[ODCA] を設定する（プライマリ機/セカンダリ機）」

■ [アカウント] 画面

このアプリケーションのデータベースから、部門またはユーザカウンタデータを削除できます。この [アカウント] 画面は、[設定] 画面の [カウンタ取得設定] によって異なります。

📖 P.27 「カウンタ取得設定」

- [トータルカウンタ] (初期値) 選択時は、このアプリケーションのデータベースから削除するデータがありませんので、この画面は表示されません。
- [トータルカウンタ+部門カウンタ] 選択時はこの画面に部門名を表示しますので、部門カウンタのデータを選択して削除できます。
- [トータルカウンタ+ユーザカウンタ] 選択時はこの画面にユーザー名を表示しますので、ユーザカウンタのデータを選択して削除できます。

補足

管理者がプライマリ機またはセカンダリ機で部門またはユーザー情報を削除しても、該当部門または該当ユーザーのカウンタデータはこのアプリケーションのデータベースから自動的に削除されません。このアプリケーションで管理する必要のない部門またはユーザーデータは、この画面を開いて削除してください。

□ アカウント削除

削除する部門名またはユーザ名のチェックボックスをクリックして選択し、[削除] をクリックします。選択した部門またはユーザーのカウンタデータが削除されます。

[トータルカウンタ+部門カウンタ] 選択時

e-BRIDGE Plus for Green Information

情報 [エクスポート](#) [設定](#) [アカウント](#)

アカウント

アカウント削除

*e-BRIDGE Plus for Green Information内のデータベースに登録・保存されているデータを削除します。

登録数 124

<input checked="" type="checkbox"/>	部門名称	部門コード
<input checked="" type="checkbox"/>	Dept001	001
<input checked="" type="checkbox"/>	Dept002	002
<input checked="" type="checkbox"/>	Dept003	003
<input checked="" type="checkbox"/>	Dept004	004
<input checked="" type="checkbox"/>	Dept005	005

[トータルカウンタ+ユーザカウンタ] 選択時

e-BRIDGE Plus for Green Information

情報 [エクスポート](#) [設定](#) [アカウント](#)

アカウント

アカウント削除

*e-BRIDGE Plus for Green Information内のデータベースに登録・保存されているデータを削除します。

登録数 124

<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ名	ドメイン名/LDAPサーバー
<input checked="" type="checkbox"/>	User001	xxxx
<input checked="" type="checkbox"/>	User002	xxxx
<input checked="" type="checkbox"/>	User003	xxxx
<input checked="" type="checkbox"/>	User004	xxxx
<input checked="" type="checkbox"/>	User005	xxxx

ホーム画面で情報を確認する

管理者だけでなく一般ユーザーも、「サポート機」の操作パネルで用紙削減の貢献度を確認できます。

注意

「サポート機」の操作パネルに確認画面を表示するには、以下の条件が必要です。確認画面を見ることができない一般ユーザーは、管理者にご相談ください。

- このアプリケーションを、その「サポート機」にインストールしていること。
P.9 「このアプリケーションをインストールする」
- このアプリケーションを、操作パネルのホーム画面に登録していること。
P.15 「このアプリケーション画面を操作パネルに表示する」
- セカンダリ機の場合は、プライマリ機の「設定」画面でそのセカンダリ機を登録して、「パネル画面の送信」を「ON」に設定していること。
P.25 「デバイス登録」


確認画面を開く

「サポート機」の操作パネルで、用紙削減貢献度を確認できます。以下の操作で、確認画面を開いてください。

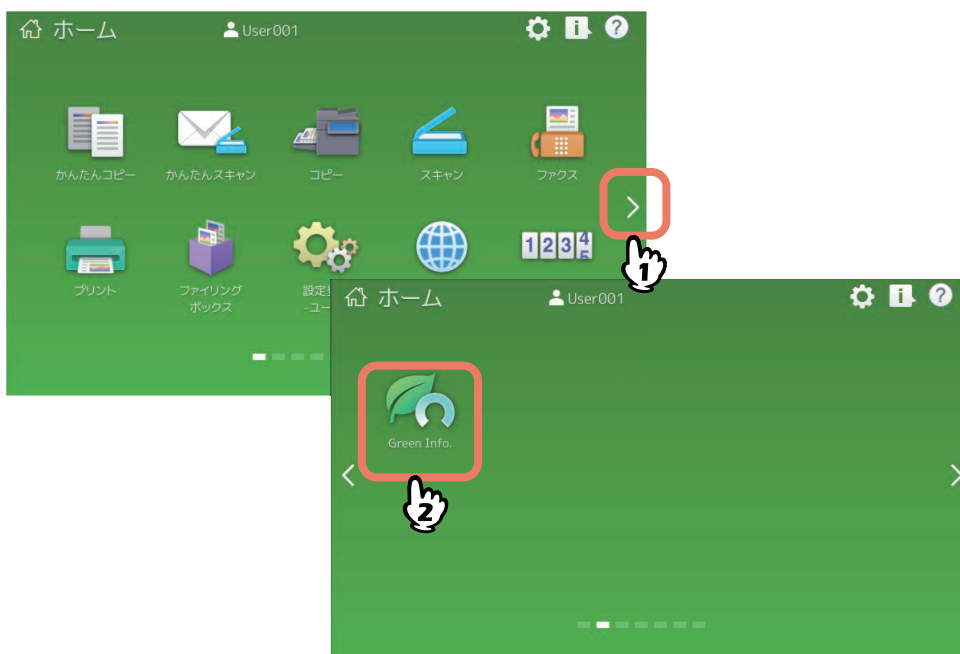
注意

「サポート機」を部門またはユーザー管理機能で管理している場合は、「サポート機」の電源をオンにするときやパネルを操作するときにログイン認証が求められます。このアプリケーション画面は、ログインした部門またはユーザーに関する情報を表示します。

- 「部門コード」画面が表示されたら、部門コードを「部門コード」に入力して「OK」を押します。
- 「ユーザ認証」画面が表示されたら、「ユーザ名」、「パスワード」、「ドメイン/LDAP」（必要に応じて）を入力して、「OK」を押します。

1 操作パネルの （「ホーム」ボタン）を押します。

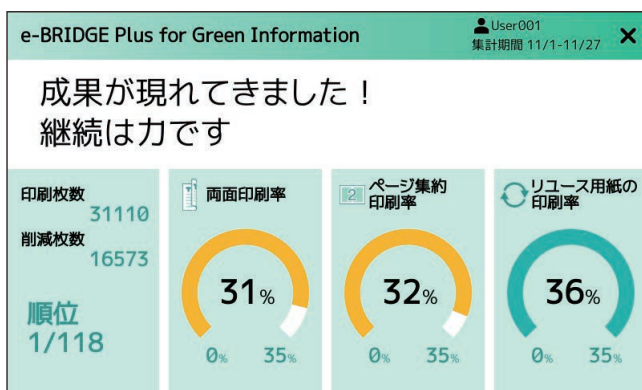
2 このアプリケーションのアイコンを探して押します。



3 情報を確認します。


確認できる情報については、以下の説明をお読みください。

📖 P.36 「用紙削減貢献度を確認する」



注意

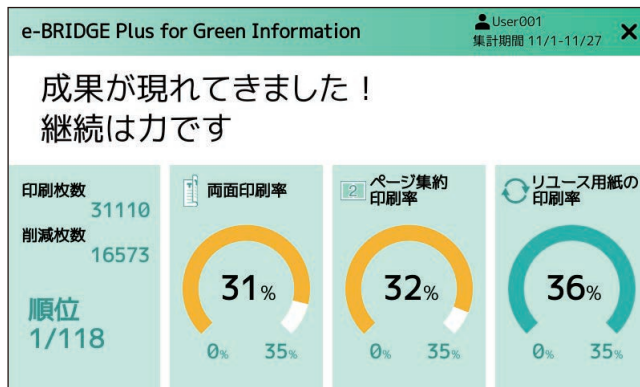
このアプリケーションの設定によっては、表示されない情報があります。管理者にご相談ください。

- 4 操作が終了したら、操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押すか [×] をクリックして、確認画面から抜けます。

■ 用紙削減貢献度を確認する

操作パネルのホーム画面に登録したこのアプリケーション画面では、用紙削減の貢献度を表示します。

画面上部には、部門名またはユーザ名（部門またはユーザ認証時）と集計期間を表示します。



□ メッセージ

両面印刷、集約印刷、およびリユース用紙印刷に関する目標の達成度に応じて、操作パネルにメッセージを表示します。初期値では既定のメッセージを表示し、オリジナルメッセージを設定して表示することもできます。

📖 P.28 「用紙削減機能の目標設定」

📖 P.29 「パネル画面のメッセージ」

□ 用紙削減貢献度

集計期間内に印刷で使用した用紙の情報と、用紙削減機能による貢献度をグラフで確認できます。

印刷枚数

実際に使用した用紙の総枚数を確認できます。

削減枚数

両面印刷、ページ集約印刷、およびリユース用紙の使用によって削減できた新品用紙の枚数を確認できます。

順位

登録されたすべてのデバイスを使用する部門またはユーザーの目標達成順位を確認できます。この順位表示は、部門またはユーザ認証時のみ利用できます。[設定]画面の[パネル画面の表示設定] - [パネル画面の順位表示]を[無効]に設定すると、[順位]は表示されません。

📖 P.29 「パネル画面の表示設定」

両面印刷率、ページ集約印刷率、リユース用紙の印刷率

両面印刷、ページ集約印刷、リユース用紙を使用する割合の目標と、実際の使用割合（目標達成度）をグラフで確認できます。グラフ内側の数値は実際の達成度です。グラフ右下の割合は、[設定]画面の[用紙削減機能の目標設定]で設定した目標の割合です。目標の達成度は、以下のようにグラフの色で表します。

- ・ 緑色：達成度は、目標を超えています。
- ・ 黄色：達成度は、目標の5割以上10割未満です。
- ・ ピンク色：達成度は目標の5割未満です。

[設定]画面の[用紙削減機能の目標設定]の目標値を「0%」に設定すると、該当する円グラフは表示されません。

📖 P.28 「用紙削減機能の目標設定」

困ったときは

困ったときは、状況に応じて表示されるメッセージを確認して対処してください。メッセージは、以下の画面に表示されます。

- このアプリケーション内の画面：
 [情報] 画面、[エクスポート] 画面、[設定] 画面、または [アカウント] 画面で作業中にメッセージが赤く表示されたら、以下のページでメッセージを探して対処してください。
 □ P.37 「このアプリケーション内の画面に表示されるメッセージ」
 - 操作パネルのこのアプリケーション画面：
 操作パネルのホーム画面に登録したこのアプリケーション画面で情報を確認する際にメッセージが表示されたら、以下のページでメッセージを探して対処してください。
 □ P.43 「操作パネルのこのアプリケーション画面に表示されるメッセージ」
 - TopAccessのアプリケーションログ画面：
 TopAccessのアプリケーションログに、このアプリケーションの動作状況が記録されます。困ったときは、このアプリケーションをインストールしたプライマリ機またはセカンダリ機のTopAccessにアクセスして、[ログ] - [ログ閲覧] - [アプリケーションログ] を開き、以下のページでメッセージを探して対処してください。
 □ P.44 「アプリケーションログに記録されるメッセージ」
- 一般ユーザーの方でトラブルの状況や対処方法が分からない場合は、管理者にご相談ください。

■ このアプリケーション内の画面に表示されるメッセージ

このアプリケーション内で作業している際に画面にメッセージが表示される場合は、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

□ [情報] 画面のメッセージ

[情報] 画面で情報を確認する際にメッセージが表示される場合は、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
データのアクセスエラーが発生しました。	このアプリケーションはデータベースにアクセスできないためデータを読み取ることができず、この画面に情報は表示されません。 メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れ直してください。またはTopAccessの [アプリケーションリスト] を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
データ処理中です。	そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。

□ [エクスポート] 画面のメッセージ

[エクスポート] 画面で作業する際にメッセージが表示される場合は、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
データ処理中のため作成できません。しばらく待ってから再度実行してください。	[新規作成] をクリックしたときに、そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。
アプリケーション終了中のため作成できません。	このアプリケーションが動作していない状態で [新規作成] をクリックしました。 プライマリ機の TopAccess にアクセスし、[アプリケーションリスト] を開き、このアプリケーションの [手動操作] で [起動] をクリックします。アプリケーションが起動してから、[新規作成] をクリックしてください。
ファイルの作成に失敗しました。	CSV ファイル処理（読み出しまたは書き出し）時に、このアプリケーションのデータベースにアクセスできませんでした。 メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。 1. しばらくお待ちください。 2. デバイスの電源を入れなおしてください。または TopAccess の [アプリケーションリスト] を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3. サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
	そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。

□ [設定] 画面のメッセージ

[設定] 画面で作業する際にメッセージが表示される場合は、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
有効なIPアドレスを入力してください。	<p>[設定] 画面の [デバイス登録] でセカンダリ機を登録する際に、[IPアドレス] に無効なIPアドレスを入力したまま [追加] や [保存] をクリックしました。 以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [IPアドレス] が空欄です。有効なIPアドレスを入力してください。 • [IPアドレス] に数字とピリオド以外の文字や記号を入力しています。有効なIPアドレスを入力してください。
既に登録されているIPアドレスです。	<p>[設定] 画面の [デバイス登録] でセカンダリ機を登録する際に、[IPアドレス] に無効なIPアドレスを入力したまま [追加] や [保存] をクリックしました。または、別々のブラウザで同じIPアドレスのセカンダリ機を登録しようと [保存] をクリックしました。 以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [IPアドレス] にすでに登録されているIPアドレスを入力しています。登録するデバイスのIPアドレスを確認して入力してください。 • [IPアドレス] にプライマリ機のIPアドレスを入力しています。登録するデバイスのIPアドレスを確認して入力してください。 • IPアドレスをブラウザ相互にチェックしません。セカンダリ機のIPアドレスをそれぞれのブラウザで確認してください。
NG （[接続テスト] の表示）	<p>[設定] 画面の [デバイス登録] - [接続テスト] にある [接続] をクリックしても、セカンダリ機と通信できません。 以下を参考にセカンダリ機の状態を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源がオフになっています。電源をオンにしてください。 • ネットワーク通信が遮断されています。セカンダリ機がネットワーク通信できるか確認してください。 • IPアドレスが間違っています。セカンダリ機のIPアドレスを確認して、正しいIPアドレスを入力してください。 • ネットワークケーブルが外れています。ケーブルを接続してください。 • スーパースリープモードから復帰していません。タイミングが悪いと [NG] となりますので、しばらくお待ちください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
<p>NG （[手動取得] の表示）</p>	<p>[設定] 画面の [デバイス登録] - [手動取得] にある [取得] をクリックしても、セカンダリ機からデータを収集できません。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • そのほかのプロセスが進行中です。進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。 • 以下を参考にセカンダリ機の状態を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 電源がオフになっています。電源をオンにしてください。 - スーパースリープモードから復帰していません。しばらくお待ちいただくか、強制的にスーパースリープモードから復帰させてください。 - ネットワークに接続されていません。接続を確認してください。 - 現在のIPアドレスで登録したデバイスは、このアプリケーションと互換性がありません。セカンダリ機として登録できません。このアプリケーションを使用できるデバイスを登録してください。 - IPアドレスが間違っています。正しいIPアドレスを入力してください。 - セカンダリ機のIPアドレスが変更されています。[デバイス登録] の [IPアドレス] を、デバイスで変更したIPアドレスに合わせて変更してください。 - [デバイス登録] で登録しているセカンダリ機が、同じIPアドレスを設定した別のデバイスに変更されています。いったんそのIPアドレスのセカンダリ機を [デバイス登録] から削除して、再度同じIPアドレスでセカンダリ機として登録しなおしてください（そのデバイスから新たにデータ収集を開始すると、正常なデータ収集を継続できます）。 • 以下を参考にプライマリ機とセカンダリ機のネットワーク通信を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークケーブルが外れています。ケーブルを接続してください。 - プライマリ機とセカンダリ機で、SNMPとODCA設定が異なります。同じ設定にしてください。 - プライマリ機側の [タイムアウト] が短すぎます。より長く設定してください。 • プライマリ機の内蔵ストレージがいっぱいです。管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
<p>有効な自動取得設定を入力してください。</p>	<p>[設定] 画面の [自動取得設定] にある [時刻] に無効な時刻を入力したまま [保存] をクリックしました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [時刻] が空欄です。時間を入力してください。 • [時刻] に文字を入力しています。時間を入力してください。 • [時刻] に無効な時間を入力しています。0:00 - 23:59の範囲で時間を入力してください。
<p>有効な用紙削減機能の目標設定を入力してください。</p>	<p>[設定] 画面の [用紙削減機能の目標設定] で無効な値を入力したまま [保存] をクリックしました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力欄が空欄です。値を入力してください。 • 入力欄に数字以外の文字を入力しています。値を入力してください。 • 入力欄に無効な値を入力しています。0 - 100の範囲で値を入力してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
有効な削減効果の設定を入力してください。	<p>[設定] 画面の [削減効果の設定] にある [紙1枚あたりの価格] と [紙1枚あたりのCO2排出量] で無効な値を入力したまま [保存] をクリックしました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力欄が空欄です。値を入力してください。 • 入力欄に数字以外の文字を入力しています。値を入力してください。 • 入力欄に負数を入力しています。正数を入力してください。
有効なSNMP設定を入力してください。	<p>[設定] 画面の [ネットワーク設定] で [SNMP設定] に無効な値を入力したまま [保存] をクリックしました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SNMP V3使用] 選択時、[ユーザ名] が空欄です。名前を入力してください。 • [SNMP V3使用] 選択時、[認証パスワード] に、次の無効なパスワードが入力されています。 <ul style="list-style-type: none"> - 入力欄が空欄です。パスワードを入力してください。 - 入力欄に既定範囲外のパスワードを入力しています。8 - 31文字の範囲でパスワードを入力してください。 • [通信リトライ] の [タイムアウト] に、次の無効な値が入力されています。 <ul style="list-style-type: none"> - 入力欄が空欄です。値を入力してください。 - 入力欄に数字以外の文字や記号を入力しています。値を入力してください。 - 入力欄に既定範囲外の値を入力しています。1 - 60秒の範囲で値を入力してください。 • [通信リトライ] の [リトライ回数] に、次の無効な値が入力されています。 <ul style="list-style-type: none"> - 入力欄が空欄です。値を入力してください。 - 入力欄に数字以外の文字や記号を入力しています。値を入力してください。 - 入力欄に規定範囲外の値を入力しています。1 - 5回の範囲で値を入力してください。
有効なOff Device Customization Architecture設定を入力してください。	<p>[設定] 画面の [ネットワーク設定] で [Off Device Customization Architecture設定] に無効な値を入力したまま [保存] をクリックしました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [パスワード] が空欄です。パスワードを入力してください。 • [パスワード] が6文字未満です。6文字以上の値を入力してください。 • [パスワード] が65文字以上です。64文字以下にしてください。 • [ポート番号] に、次の無効な値が入力されています。 <ul style="list-style-type: none"> - 入力欄が空欄です。値を入力してください。 - 入力欄に数字以外の文字や記号を入力しています。値を入力してください。 - 入力欄に65535より大きい値を入力しています。65535以下の値を入力してください。 - 入力欄に負数を入力しています。正数を入力してください。 • [タイムアウト] に、以下の無効な値を入力しています。 <ul style="list-style-type: none"> - 入力欄に数字以外の文字や記号を入力しています。値を入力してください。 - 入力欄に規定範囲外の値を入力しています。10 - 600秒の範囲で値を入力してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
データ処理のため保存できません。しばらく待ってから再度実行してください。	[保存] をクリックしたときに、そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。
データのアクセスエラーが発生しました。	このアプリケーションのデータベースにアクセスできず、設定を読み取ることができません。 メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの [アプリケーションリスト] を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
設定の保存に失敗しました。	そのほかのプロセスが進行中の場合があります。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。 このアプリケーションのデータベースにアクセスできず、設定を書き込むことができません。 メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの [アプリケーションリスト] を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
登録数の上限に達しています。	追加台数が多いまま別々のブラウザでデバイスを登録しようと [保存] をクリックしました。 登録するデバイス数をブラウザ相互にチェックしません。 [キャンセル] をクリックして登録を中止します。登録できるデバイス数を確認してから、登録してください。
データ処理中です。	そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。

□ [アカウント] 画面のメッセージ

[アカウント] 画面で作業する際にメッセージが表示される場合は、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
データ処理のため削除できません。しばらく待ってから再度実行してください。	[削除] をクリックしたときに、そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。
データ処理中です。	そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。

■ 操作パネルのこのアプリケーション画面に表示されるメッセージ

操作パネルで情報を確認する際に画面にメッセージが表示される場合は、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
ログインした部門の情報がありません。	<p>このアプリケーションが部門カウンタを管理するように設定されている場合に、以下のいずれかの状態のまま操作パネルのホーム画面に登録したこのアプリケーション画面を開きました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> このアプリケーションが部門カウンタ値を収集する前に、プライマリ機で画面を開きました。自動取得時刻が過ぎてデータ収集が完了するまでお待ちください。 プライマリ機からデータを受信する前に、セカンダリ機で画面を開きました。自動取得時刻が過ぎてデータ収集が完了するまでお待ちください。 セカンダリ機に画面データが送信されていません。プライマリ機でも同じメッセージが出るか確認してください。
ログインしたユーザの情報がありません。	<p>このアプリケーションがユーザカウンタを管理するように設定されている場合に、以下のいずれかの状態のまま操作パネルのホーム画面に登録したこのアプリケーション画面を開きました。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> このアプリケーションがユーザカウンタ値を収集する前に、プライマリ機で画面を開きました。自動取得時刻が過ぎてデータ収集が完了するまでお待ちください。 プライマリ機からデータを受信する前に、セカンダリ機で画面を開きました。自動取得時刻が過ぎてデータ収集が完了するまでお待ちください。 セカンダリ機に画面データが送信されていません。プライマリ機でも同じメッセージが出るか確認してください。
Application Error. (このメッセージは英語で表示されます。)	<p>このアプリケーションのデータベースにアクセスできず、データを読み取って情報を画面に表示することができません。メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> しばらくお待ちください。 デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの[アプリケーションリスト]を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
データ処理中です。	<p>そのほかのプロセスが進行中です。進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。</p>

■ アプリケーションログに記録されるメッセージ

このアプリケーションに何らかのトラブルが発生した場合は、TopAccessのアプリケーションログにトラブルの状況を示すメッセージを記録します。ご使用中のプライマリ機またはセカンダリ機のアプリケーションログをTopAccessから開き、以下の表でメッセージを確認してトラブルを解消してください。

注意

アプリケーションログの閲覧には、管理者権限が必要です。

□ プライマリ機のアプリケーションログメッセージ

プライマリ機のアプリケーションログに記録されたメッセージを探し、以下の表で確認してトラブルを解消してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
カウンタ取得ができませんでした。	<p>プライマリ機がデータを自動的に取得できませんでした。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• プライマリ機のネットワーク通信に問題がないか、以下を確認してください。<ul style="list-style-type: none">- ネットワークエラー。ケーブルが外れていないか確認してください。- [設定] 画面の [ネットワーク設定] に誤りがあります。セカンダリ機での設定と同じになるように、正しく設定してください。- そのほかの内蔵アプリケーションによる通信ビジーです。しばらくお待ちください。• セカンダリ機に問題がないか、以下を確認してください。<ul style="list-style-type: none">- 電源がオフになっています。電源をオンにしてください。- スーパースリープモードから復帰していません。しばらくお待ちいただくか、強制的にスーパースリープモードから復帰させてください。- ネットワークに接続されていません。ネットワークの接続を確認してください。- 現在のIPアドレスで登録したデバイスは、このアプリケーションと互換性がありません。セカンダリ機として登録できません。このアプリケーションを使用できるデバイスを登録してください。- IPアドレスが間違っています。正しいIPアドレスを入力してください。- セカンダリ機のIPアドレスが変更されています。[デバイス登録] の [IPアドレス] を、デバイスで変更したIPアドレスに合わせて変更してください。- [デバイス登録] で登録しているセカンダリ機が、同じIPアドレスを設定した別のデバイスに変更されています。いったんそのIPアドレスのセカンダリ機を [デバイス登録] から削除して、再度同じIPアドレスでセカンダリ機として登録しなおしてください（そのデバイスから新たにデータ収集を開始すると、正常なデータ収集を継続できます）。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
<p>パネル画面データの送信ができませんでした。</p>	<p>プライマリ機はパネル画面データをセカンダリ機へ送信できません。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ機で以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークエラー。ケーブルが外れていないか確認してください。 - セカンダリ機での設定と同じになるように、[設定] 画面の [ネットワーク設定] を正しく設定してください。 - セカンダリ機のIPアドレスが間違っています。正しいIPアドレスを入力してください。 - プライマリ機がデータを収集するだけの「ターゲット機」へは画面データを送信できません。[設定] 画面の [デバイス登録] で、「ターゲット機」の [パネル画面の送信] を [OFF] に設定してください。 - そのほかの内蔵アプリケーションによる通信ビジーです。しばらくお待ちください。 • セカンダリ機で以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 電源がオフになっています。電源をオンにしてください。 - スーパースリープモードから復帰していません。しばらくお待ちいただくか、強制的にスーパースリープモードから復帰させてください。 - このアプリケーションが動作していません。セカンダリ機のTopAccessにアクセスして [アプリケーションリスト] を開き、このアプリケーションの [手動操作] で [起動] クリックします。 - ネットワークに接続されていません。ネットワークの接続を確認してください。 - セカンダリ機の内蔵ストレージがいっぱいです。管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。 - プライマリ機でセカンダリ機として登録したデバイスが、誤ってプライマリ機として設定されています。[設定] 画面の [プライマリ設定] で [セカンダリ] を選択してください。 - そのほかの内蔵アプリケーションによる通信ビジーです。しばらくお待ちください。
<p>登録数が上限を超えました。</p>	<p>TopAccessでの部門またはユーザどちらかの登録数が多すぎます。 このアプリケーションで管理できる部門またはユーザ数には上限があります。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 部門数を200以下にしてください。 • ユーザ数を200以下にしてください。
<p>ストレージがいっぱいです。</p>	<p>プライマリ機の内蔵ストレージがいっぱいで、プライマリ機は以下のいずれかの状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データを自動的に取得できませんでした。 • データを手動で取得できませんでした。 • CSVファイルを自動的に生成できませんでした。 • CSVファイルを手動で作成できませんでした。 • このアプリケーションの設定を保存できませんでした。 <p>管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。</p>

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
データのアクセスエラーが発生しました。	<p>このアプリケーションのデータベースが壊れているため、プライマリ機は以下のいずれかの状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データにアクセスできない。 • データが保存できない。 <p>メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの[アプリケーションリスト]を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
アプリケーションエラーが発生しました。	<p>プライマリ機で、上記以外の何らかのアプリケーションエラーが発生しました。</p> <p>メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの[アプリケーションリスト]を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
データ処理中です。	<p>その他のプロセスが進行中です。</p> <p>進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。</p>

□ セカンダリ機のアプリケーションログメッセージ

セカンダリ機のアプリケーションログに記録されたメッセージを探し、以下の表で確認してトラブルを解消してください。

補足

「ターゲット機」は、セカンダリ機として登録されていても、このアプリケーションに関するアプリケーションログを記録しません。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
ストレージがいっぱいです。	セカンダリ機の内蔵ストレージがいっぱいで、パネル画面データを受信できません。 管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
データのアクセスエラーが発生しました。	このアプリケーションのデータベースが壊れているため、セカンダリ機は以下のいずれかの状況です。 <ul style="list-style-type: none"> • データにアクセスできない。 • データが保存できない。 メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの[アプリケーションリスト]を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.セカンダリ機でこのアプリケーションを再インストールして、セカンダリ機として再設定してください。 4.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
アプリケーションエラーが発生しました。	セカンダリ機で、上記以外の何らかのアプリケーションエラーが発生しました。 メッセージが消えるまで、以下の順序で対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1.しばらくお待ちください。 2.デバイスの電源を入れなおしてください。またはTopAccessの[アプリケーションリスト]を開いて、このアプリケーションを再起動してください。 3.セカンダリ機でこのアプリケーションを再インストールして、セカンダリ機として再設定してください。 4.サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
データ処理中です。	そのほかのプロセスが進行中です。 進行中のプロセスが終了するまで、しばらくお待ちください。

東芝デジタル複合機

e-BRIDGE Plus for Green Information 取扱説明書

東芝テック株式会社

